

はなれてつながらう

いよいよ準備登校が始まります。給食なしの午前だけですが、久しぶりに学校でみなさんに会えるというだけで、私たち職員は大変楽しみにしています。久しぶりに会う皆さんに、「本当によく我慢したね。頑張ったね」と、私は言いたいと思います。

始業式や入学式はありましたが、ほぼ三ヶ月間の家庭生活。夏休みは四十日あまり。夏休みのように自由にやりたいことをやったり、気ままに出歩いたりできない分、初めはワクワクでも、そのうちにドキドキやイライラに変わってもおかしくありません。それに耐え、家庭で感染防止に取り組み、一人も感染しなかった皆さんを讃え、喜びたいと思います。しかし、油断はできません。確かにウイルスは「収束」しつつあるかもしれませんが、「終息」はしていないからです。したがって、月曜日からの準備登校にも十分注意を払ってほしいのです。

登校にあたって、みなさんに心の準備をしておいてほしいことが三つあります。

一つは、特に二、三年生の皆さんですが、休校が明けたからといって、昨年度の北中の生活がすぐさま復活するわけではないということです。準備登校、分散登校があるように、徐々に学校を元通りにしていくということです。協力してください。

二つ目は、日課や方法・手順に変更があるということです。例えば給食。消毒や手洗いが必須となりますので、そこに十分な時間が必要です。そのために、みなさんに不自由な思いをさせるかもしれない。理解してください。

三つ目は、悩みや心配を自分の中にためないでほしいということです。職員が最も大切にしているのは皆さんの「心」です。担任、学年職員や話しやすい職員、スクールカウンセラー、相談員、だれでも結構です。ためらわずに思いを話してください。

「はなれてつながらる」ソーシャルディスタンスがあってもつながっていたい、私はそう思っています。みんなで頑張りましょう！

(五月二十四日分)